

酒パブリックリサイクル促進協議会便り

Vol.11 平成26年11月20日 発行 発行：酒パブリックリサイクル促進協議会

総会は、土肥副会長を議長として開催され、小野委員の後任運営委員に日本酒造組合中央会の亀井理事を承認して閉会いたしました。

なお引き続き開かれた運営委員会において、委員互選の結果、亀井委員が新会長に選出されました。



土肥副議長

平成26年10月16日(木)リモートロボリタシ秋田に於いて、会員17社24名の出席のもと、平成26年10月臨時総会を開催いたしました。

この総会は当協議会創設から7年間の会長に就任された日本酒造組合中央会の小野理事が退任されたことを受け、後任の運営委員を承認するために召集されました。



亀井新会長挨拶

臨時総会に引き続き、第22回酒パブリックリサイクル促進協議会情報交流会を開催いたしました。

冒頭新会長に就任された亀井会長からの挨拶があり、東北で初めて開催する「秋田会議」がスタートしました。

会議には地元から参加の秋田県醸造工業(株)、秋田酒類製造(株)を含め21社31名が出席、酒パブリックリサイクルの現状について情報交換を行いました。

まだまだ一般的になっていない酒パブリックリサイクルについて、様々な取り組みの情報が、全国各地で発信されることに、大きな意義を発見できた秋田会議でした。



秋田県醸造工業(株) 門脇氏



秋田酒類製造(株) 金持氏



酒パブリックリサイクル促進協議会 臨時総会 および 第22回情報交流会「秋田会議」 平成26年10月

●酒パブリックリサイクル促進協議会 会員リスト●

- | | | |
|--------------------------|---|--------------------------|
| 1 日本酒造組合中央会(東京都) | 14 沢の鶴株式会社(兵庫県) | 25 盛田株式会社(愛知県) |
| 2 雲海酒造株式会社(宮崎県) | 15 三和酒類株式会社(大分県) | 26 印刷工業会(東京都) |
| 3 オエノンホールディングス(東京都) | 16 高千穂酒造株式会社(宮崎県) | 27 石塚硝子株式会社(東京都) |
| (合同酒精・福德長酒類
・富久娘酒造 他) | 17 高橋酒造株式会社(熊本県) | 28 大日本印刷株式会社(東京都) |
| 4 大口酒造株式会社(鹿児島県) | 18 宝酒造株式会社(京都府) | 29 東京製紙株式会社(静岡県) |
| 5 大関株式会社(兵庫県) | 19 辰馬本家酒造株式会社(兵庫県) | 30 凸版印刷株式会社(東京都) |
| 6 関西ボトリング株式会社(兵庫県) | 20 中笠酒造株式会社(愛知県) | 31 日本製紙株式会社(東京都) |
| 7 菊正宗酒造株式会社(兵庫県) | 21 日本盛株式会社(兵庫県) | 32 日本テトラパック株式会社(東京都) |
| 8 黄桜株式会社(京都府) | 22 白鶴酒造株式会社(兵庫県) | 33 北越パッケージ株式会社(東京都) |
| 9 霧島酒造株式会社(宮崎県) | 23 平喜酒造株式会社(岡山県) | 34 紙製容器包装リサイクル推進協議会(東京都) |
| 10 月桂冠株式会社(京都府) | 24 伏見清酒パック協同組合(京都府) | 35 一般社団法人全国清涼飲料工業会(東京都) |
| 11 小西酒造株式会社(兵庫県) | (北川本家・齋藤酒造・招徳
酒造・玉乃光酒造・鶴正酒
造・豊澤本店・都鶴酒造・
山本勘蔵商店・山本本家) | 36 株式会社トベ商事(東京都) |
| 12 株式会社小山本家酒造(埼玉県) | | 37 大和板紙株式会社(大阪府) |
| 13 薩摩酒造株式会社(鹿児島県) | | 38 株式会社日誠産業(徳島県) |

(参加数:38団体・企業)

事務局:特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会(大阪府)

「酒パブリックリサイクル促進協議会」参加申込書

「酒パブリックリサイクル促進協議会」に下記内容で、参加を申し込みます。

年会費:1口 50,000円 (口、 円)

口数は500ml以上の酒パック年間出荷本数により設定しています。

・1,000,000本 未満 1口以上 ・1,000,000本 以上 2口以上

記入日		
会社名・団体名		
所属・役職名		
担当者名		
住所	〒	
電話・FAX番号	TEL	FAX
メールアドレス		

*FAX(06-6271-8666)でお申し込みください。
追って年会費振込口座等のご連絡をさせていただきます。
ご不明な点がございましたら、事務局:集めて使うリサイクル協会(西田)までお問合せ下さいませようお願い申し上げます。

酒パブリックリサイクル促進協議会
事務局:NPO法人 集めて使うリサイクル協会
大阪市中央区南船場1-12-3 船場グランドビル9階
TEL 06-6271-8665 FAX 06-6271-8666

酒パブリックリサイクル促進協議会 組織体制

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------|----------------|-------------------|-----------------|------------------------|
| 【ワーキンググループ】
再生商品開発チーム
リサイクルシステム研究チーム | 【専門部】広報部会:部長 中尾 雅幸(宝 酒 造)
調査部会:部長 國弘 武嗣(大日本印刷) | 事務局 和田志津子
西田 克彦 | 監査役 木内 真二
(日本酒造組合中央会) | 同 吉田 伸二
(印刷工業会) | 同 横尾 耕一
(中笠酒造) | 同 山中 正昭
(オエノンホールディングス) | 同 宮本 宏司
(白鶴酒造) | 同 松宮 雅一
(三和酒類) | 同 長野 壮一
(宝酒造) | 同 中尾 雅幸
(日本盛) | 同 高橋 一仁
(月桂冠) | 同 小島 泰弘
(小島) | 同 國弘 武嗣
(印刷工業会・大日本印刷) | 同 伊藤 順
(盛田) | 同 土肥 健児
(霧島酒造) | 同 西村 善彦
(大関) | 同 亀井 慶承
(日本酒造組合中央会) |
|--|---|--------------------|--------------------------|--------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------|----------------|-------------------|-----------------|------------------------|

「容り法見直しについて審議会情報」

凸版印刷株式会社
事業戦略本部環境担当部長
横尾耕一氏

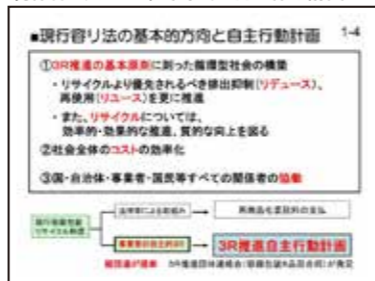


凸版印刷 横尾氏

講演
循環型社会を形成するための法体系における容り法の位置づけから、消費者・市町村・事業者のそれぞれの役割分担、さらには事業者の自主的3R推進としての自主行動計画までの容り法の原点的な解説があり、現状としての産構審・中環審合同審議会の動向および容器包装各事業分野の情報をお伝えしました。



現行容り法の基本的方向と自主行動計画



容器包装の3R推進自主行動計画の進捗状況(その1)(その2)

項目	目標	進捗状況
リサイクル率	20%	25%
資源削減率	10%	15%
再生材使用率	5%	8%
...

活動報告

貸出し用紙管パネルを使った各社の取り組み

以前にご紹介させていただきましたが、各社のイベントで酒パックリサイクルのパネルがその後も継続的に使用されています。各社のイベントでは是非ご活用いただき、様々な機会に酒パックリサイクルの情報を発信していただきますようよろしくお願いいたします。

【宝酒造「エコの学校」in神戸】
2014年8月4日(月)・5日(火)
於：こうべ環境未来館

神戸市と共催で、宝酒造「エコの学校」を神戸で初開催。合計19家族、49名が参加。3時間構成で、
■1時限目 ごみ問題の現状について(こうべ環境未来館の見学)
■2時限目 4Rについて
■3時限目 酒パックをリサイクル・紙漉き体験でオリジナルがきを作成貸出し用紙管パネルを用いた説明も

酒パックの構造を説明している様子



紙漉き体験の様子



【宝酒造「エコの学校」in京都】
2014年8月8日(金)
於：京エココロセンター

京都市の後援で、午前と午後の2回開催。合計24家族、50名が参加。授業内容は、神戸開催と同じ。

酒パックの構造を説明している様子



紙漉き体験の様子



秋田地区見学会

10月17日(金)酒促進協のメンバー約20名が参加し、秋田の代表的銘柄「高清水」を製造する秋田酒類製造様の工場と、秋田市の家庭ごみを処理する秋田市総合環境センターを見学しました。

秋田酒類製造株式会社
前日の酒促進協情報交流会にご参加いただいた、清酒高清水醸造元秋田酒類製造様のご厚意で、市内にある本社工場を見学させていただきました。本社蔵の敷地内に復活建設された創業間もない時期の醸造蔵「酒造道場仙人蔵」で、社長のご挨拶、企業のご説明をお伺いし、高清水の酒造りビデオを拝見、さらにいくつかの商品の試飲をさせていただきました。



商品試飲風景



環境センター全景

【秋田市総合環境センター】
秋田市河辺豊蔵
宇虚彦蔵大台滝1の1
秋田市の家庭ごみを処理するために、43万平方メートルの敷地に総工費250億円をかけ建設された「ガス溶融施設」を見学しました。
施設では、多様化するごみをすべて資源化し、有効活用することによってゼロエミッションの実現を目指しています。資源ごみを除いたごみは高温溶融処理し、スラグ・メタルとして再資源化。ごみの熱エネルギーは回収し、電力の形で再利用。また余剰電力は売電しています。さらに現在メガソーラー施設が建設中です。
資源物を分別展示しているリサイクルプラザを含め、約1時間半の行程を職員の方の説明を受けながら見学しました。



リサイクルプラザ



メガソーラー

灘・伏見酒パック循環システム

自社で発生する酒パックの充填損紙を、古紙原料として統一的にリサイクルする活動は、灘・伏見両地区の酒造メーカー21社によって平成20年にスタートし、今年で7年目に入っています。このシステムによって回収された酒パックの累計は905トンに上り、各社が導入した酒パック再生品も、50品目を数えるほどになってきました。
今後すべての会員の工場損紙をリサイクルすべく各地に仕組みを拡大したいと考えます。

灘・伏見地区回収量

回収実績	メンバー		平成20年7月 ~平成26年9月	合計
	灘地区	白鶴酒造/富久娘酒造/日本盛/大関/菊正宗酒造/沢の鶴/辰馬本家酒造/小西酒造/関西ボトリング	612,800kg	
伏見地区	月桂冠/宝酒造/黄桜/伏見清酒/協同組合(北川本家・齋藤酒造・招徳酒造・玉乃光酒造・鶴正酒造・豊澤本店・都鶴酒造・山本勘蔵商店・山本本店)	292,370kg		

ホームページ 全面リニューアル

10月にホームページを全面リニューアルしました。



全体イメージを一新し、より見やすくなりま

TOPICSには最新の更新内容表示とともに記事の写真を大きくしています。右側には協議会便りなどへのダイレクトリンクメニューがあります。右側には協議会便りなどへのダイレクトリンクメニューがあります。右側には協議会便りなどへのダイレクトリンクメニューがあります。